

横須賀市と厚木市に「開国・開港Y150」入場券を寄贈 ～身体障害者、児童養護施設児童等を招待～

神奈川県遊技場協同組合（理事長:平川正寿）と神奈川福祉業協会（会長:平川正寿）は、社会貢献活動の一環として、横須賀市と厚木市に対し、4月28日から9月27日までみなとみらい21新港地区周辺で開催される、横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」入場券750枚を寄贈しました。

1. 寄贈日時	平成21年4月7日（火） 午後3時から
2. 寄贈場所	横浜市中区新港1-6-3 財団法人横浜開港150周年協会
3. 寄贈先	厚木市長 小林 常良 横須賀市長 蒲谷 亮一
4. 寄贈物品	「開国・開港Y150」入場券750枚（90万円相当） ○ 厚木市～320枚 ○ 横須賀市～430枚
5. 寄贈式の模様	寄贈式ではと後藤孝 神奈川県遊技場協同組合厚木市組合長と、日比野光守 神奈川福祉事業協会理事から入場券がそれぞれ厚木市、横須賀市の健康福祉部の職員に手渡されました。 寄贈にあたって両氏から、「ぜひ、身体障害者や児童養護施設の方々や高齢者を横浜開港150周年記念テーマイベントに招待してください。皆さんに楽しんでいただければと思います。」と挨拶をしました。 寄贈式に同席した横須賀市内のあまね共同作業所 海原泰江所長、厚木市肢体不自由児者父母の会 大野文八会長、厚木市自閉症児・者親の会 小宮清子会長からは、「施設の障害児、障害者へのこうした行事への招待は思いもよらぬものであり、大変有り難く思っています。子供たちも本当に喜びます。」とお礼の言葉がありました。



後藤厚木市組合長（左写真、左から2人目）より厚木市へ、日比野事業協会理事（右写真、左から1人目）より横須賀市へ、入場券を寄贈しました。